

勝川の新時代へつなげる街づくり

勝川地区第一種市街地再開発事業

施設建築物工事着工

村井 亮治

JR 中央本線勝川駅北口で進められてきた「勝川地区第一種市街地再開発事業（以下、勝川再開発）」の新築工事起工式が昨年の十一月に執り行われた。勝川駅周辺地区は、春日井市の西の玄関としての位置づけのもと、勝川駅周辺総合整備計画が策定され、土地区画整理事業を始めとする様々な事業が進められてきた。中でも駅前立地換地ビルは初の事業として全国の注目を集め、その後、組合施行の市街地再開発事業など駅周辺の施設整備が進められてきた。さらに、JR 勝川駅の高架化事業もあり、多様な事業手法を組み合わせた駅周辺の開発事例として関係者の視察希望が後を絶たない。

勝川大弘法通商店街では、地元店主らの企画により毎月第三土曜日に「勝川弘法市」が開催され、地域住民を中心に多くの人出があり、広く親しまれている。行政主体で進められてきた駅前周辺の基盤整備に、組合施行による再開発ビルの建設と若手店主らによる商店街の活性化策も加わり、勝川の街は大きく変わりつつある。今回の勝川再開発はその集大成ともいえるもので、今後は、商業テナントの募集、管理運営計画の検討といったソフト面の取り組みのほか、分譲マンションの販売も始められる。そして、平成十八年度内に一部の店舗をオープンさせ、平成十九年度内に全ての施設を完成させる予定となっている。

勝川再開発は、駅前から延びる「勝川駅前通商店街（通称 勝川大弘法通商店街）」にも面していることから、低層部に商業施設を配置し背後の商店街との連続性に配慮している。さらに、駅前の利便性と充実した商業空間を享受できる快

勝川再開発は、駅前から延びる「勝川駅前通商店街（通称 勝川大弘法通商店街）」にも面していることから、低層部に商業施設を配置し背後の商店街との連続性に配慮している。さらに、駅前の利便性と充実した商業空間を享受できる快



施設計画概要

【1街区 1】分譲マンション(168戸)・店舗
敷地面積：約 3,750 m²
延床面積：約 17,360 m²
規模：地上 14 階

【1街区 2】店舗
敷地面積：約 410 m²
延床面積：約 710 m²
規模：地上 3 階

【2街区】店舗・分譲マンション(77戸)
敷地面積：約 3,760 m²
延床面積：約 12,790 m²
規模：地上 13 階 一部 2 階

【3街区】店舗・駐車場(358台)
敷地面積：約 2,860 m²
延床面積：約 8,870 m²
規模：地上 5 階 一部 2 階

着工時の概要のため今後の変更もありえます。



民間主導の久屋大通 オープンカフェの実施

井澤 知且

名古屋市の久屋大通は平成十二(二〇〇〇)年より、久屋大通の歩道(幅員十・五m)を活用したオープンカフェ(歩行者休憩施設)の設置・管理の社会実験をおこなってきました。これは、広幅員な歩道を有効に活用して、多数の市民が休憩や談話ができる場を提供することで賑わいを創出し、さらには置き看板の撤去や駐輪自転車の整理、歩道の清掃など快適な歩行環境へ改善を図ろうというものです。

当初は名古屋市が設置する道路に付属する休憩施設という位置づけでしたが、実績を積み上げる中でオープンカフェ推進協議会(名古屋市が参加メンバーであることを前提として、名古屋商工会議所が責任者)が警察の道路使用許可を得ることが出来るようになりました。

そして先年の秋には民間組織である名古屋中央大通連合発展会が中心となって商工会議所、名古屋市で構成される協議会、およびその下での実行委員会により実施されました。弊社はその事務局を担当しました。実施主体を民間にシフトし、民間の自己責任によるオープンカフェの設置・管理が今回の特徴です。またこれまでで最長の九日間連続の実施でした。

オープンカフェの現場管理者を公募したところ、六店舗から応募がありました。直接オープンカフェで営業行為はできませんが、すべてが飲食関係の店舗です。今後は、飲食店に限らず、ファッション系やインテリア系など、幅広い業種の参加を求めています。横浜市では、民間中心の協議会が管理し、各店舗が道路占有料を払って、営業を行っています。そんな事例も参考にしながら、持続性のある仕組みを作り上げて、市民に支持される名古屋方式のオープンカフェを追究していきたいと考えています。



祝！パティオニシハル すまいる愛知住宅賞受賞

堀内 研自

昨年、名鉄大山線の西春駅前商店街にオープンした住宅と店舗からなる複合施設「パティオニシハル」が、平成十七年度すまいる愛知住宅賞・都市再生機構中部支社長賞を受賞しました。この賞は、ゆとりと癒しを与えるようなやさしい空間づくりを提案した住まいに対し、毎年贈られる賞です。「パティオニシハル」は、優良建築物等整備事業を活用した共同建築で、三人の権利者と共に商店街の活性化をめざし、計画・設計・建設を進めてきました。特徴は三人が共同で整備したパティオ広場や共用デッキで、これらをまちに開放することで、まちにゆとりを与える施設となっています。



H17年10月18日 中区役所ホールで行われた、作家・赤瀬川原平氏の講演会に合わせ、表彰式が行われました。